

45分 授業プラン 指導案

先生用ガイド — そのまま授業で使えます

対象学年: 小学3～6年生 (低学年は一部簡略化してご利用ください)

授業時間: 45分 (1コマ)

テーマ: インターネットの基本 / 個人情報保護 / ネットマナー / 相談方法

この指導案の特徴

台本形式

先生のセリフ例つきで、読み上げるだけで授業が進行できます

用語注釈つき

ネット用語がわからなくても安心。注釈でやさしく解説しています

ワークシート

児童に配布できるワークシート(コピー用)が付いています

タイムライン

45分の時間配分を細かく設定。時計を見ながら進められます

ページ構成

- P.2 授業タイムライン・準備物チェックリスト
- P.3 授業進行ガイド [前半] 導入 + インターネットの基本 + 個人情報
- P.4 授業進行ガイド [後半] ネットマナー + 相談方法 + まとめ
- P.5 先生のための用語解説集 (20語)
- P.6 児童用ワークシート(コピー配布用)

[重要] この指導案は自由にコピー・編集・配布できます。

学校や地域の実情に合わせてアレンジしてご活用ください。PowerPoint版が必要な場合はサイトからダウンロードできます。

授業タイムライン(45分) & 準備物

0:00 5分 導入

アイスブレイク「インターネット使ったことある？」

5:00 10分 パート1:インターネットの基本

インターネットとは何か、便利さと危険性の両面を学ぶ

15:00 10分 パート2:個人情報をまもろう

個人情報とは何か、なぜ守るのか、具体的に何がダメか

25:00 10分 パート3:ネットのマナー

メッセージの送り方、写真のルール、ゲームのマナー

35:00 5分 パート4:困ったときの相談方法

困ったらどうする?相談先の紹介と練習

40:00 5分 まとめ・ワークシート記入

今日学んだことの振り返り、おやくそく記入

準備物チェックリスト

[必須]

- この指導案(印刷して手元に)
- 児童用ワークシート(P.6を人数分コピー)
- 黒板 または ホワイトボード

[あると便利]

- プロジェクター + PC(スライドを映す場合)
- タブレット端末(実演する場合)
- 大きな紙(模造紙)とマーカー(板書用)

[ポイント] スライドやプロジェクターがなくても、この指導案と黒板だけで授業できます。

板書のキーワードは指導案内に【板書】マークで示しています。

先生のセリフ例は「 」で囲んでいます。そのまま読み上げても、アレンジしてもOKです。

授業進行ガイド [前半] 導入 → 個人情報

0:00~5:00 導入(5分) アイスブレイク

「みなさん、インターネットを使ったことがある人はいますか？手を挙げてください。」
「YouTube見たことある人は？ゲームをオンラインでやったことある人は？」

→手を挙げた児童に「どんなことに使ってる？」と2~3人に聞く。

「今日は、インターネットを安全に楽しく使うための大切なことを勉強します。」
「クイズもあるので、楽しみにしてくださいね！」

5:00~15:00 パート1:インターネットの基本(10分)

【板書】インターネット = 世界中のコンピューターがつながったネットワーク

「インターネットは、世界中のコンピューターやスマホがつながっている大きなネットワークです。」
「手紙を出すと届くまで何日もかかりますが、ネットなら一瞬で届きます。すごいですね。」
「でも、便利な反面、気をつけなければいけないこともあります。」

[用語] ネットワーク

コンピューター同士をつないで情報をやり取りできるようにした仕組み。蜘蛛の巣のようにつながっているイメージ。

【板書】便利なこと:調べもの、連絡、動画 / こわいこと:知らない人、ウソの情報、消せない

「インターネットで便利なことは何がありますか？」→児童に発言を促す
「では、こわいことはどんなことがあると思いますか？」→意見を板書にまとめる

「大事なことは、便利に使うために、危ないことを知っておくことです。」

[用語] フィルタリング

お子さまに見せたくない有害サイトをブロックする機能。スマホやタブレットに設定できる。

15:00~25:00 パート2:個人情報をまもろう(10分)

【板書】個人情報 = 自分だけの大切な情報(名前、住所、電話番号、学校名、顔写真)

「個人情報って聞いたことありますか？自分だけの大切な情報のことです。」
「名前、住所、電話番号、学校名、顔写真…これらは全部、個人情報です。」

--- クイズコーナー ---

- Q1: ゲームで仲良くなった人に、本名を教えてもいい？
→ NG! ネット上の相手が本当に同い年の子とは限りません。
- Q2: 友だちと撮った写真をSNSにアップしてもいい？
→ NG! 友だちの許可なく写真を載せてはいけません。
- Q3: 制服を着た写真をネットに載せると何がわかる？
→ 学校名がわかってしまいます。住んでいる場所も推測されます。

[用語] SNS(エスエヌエス)

Social Networking Serviceの略。LINE、Instagram、TikTokなど、人とつながるためのサービス。

[用語] デジタルタトゥー

ネットに一度載せた情報は完全に消すことが難しいこと。入れ墨(タトゥー)のように残り続ける。

授業進行ガイド [後半] マナー → まとめ

25:00～35:00 パート3:ネットのマナー(10分)

【板書】 ネットの向こうにも「人」がいる = 面と向かって言えないことは書かない

「LINEやメッセージで友だちとやりとりしたことがある人はいますか？」

「文字だけだと、自分が思ったのと違う意味で伝わる場合があります。」

例え話:「べつにいいよ」→ OKの意味? 怒っている意味? 文字だけだとわからない!

「大事なルールは3つです。」

【板書】 3つのルール

- (1) 送る前に読み返す → 相手はどう感じるかな?
- (2) 悪口・いじわるは絶対に書かない → 画面の向こうに人がいる
- (3) 知らない人からのメッセージには返事しない → 大人にすぐ見せる

【用語】 ネチケット

ネット+エチケットの造語。インターネット上のマナーやルールのこと。

【用語】 既読(きどく)

LINEなどで、相手がメッセージを読んだことを示す表示。「既読なのに返事がない=無視」と悩む子もいる。

35:00～40:00 パート4:困ったときの相談方法(5分)

【板書】 こまったら → (1)画面を閉じる (2)大人に見せる (3)ぜったいに1人で抱え込まない

「もしネットで怖いことがあったり、嫌なメッセージが来たらどうしますか？」

→ 児童に意見を聞く

「正解は、まず画面を閉じること。そしておうちの人か先生にすぐ見せることです。」

「大事なのは、怒られるかとも思っても、ぜったいに大人に相談することです。」

「先生もおうちの人、みなさんを怒るために聞くのではなく、守るために聞きます。」

相談先を板書してください:

(1) おうちの人・先生 (2) 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310 (3) 警察 #9110

40:00～45:00 まとめ・ワークシート記入(5分)

「今日の授業で学んだことをおさらいしましょう。」

「(1) インターネットは便利だけど、気をつけることもある。」

「(2) 名前や住所などの個人情報、ネットに書かない。」

「(3) メッセージを送る前に、相手の気持ちを考える。」

「(4) 困ったら、すぐに大人に相談する。」

「では、ワークシートを配ります。今日学んだことを書いてみましょう。」

→ ワークシート(P.6)を配布し、5分間で記入させる。時間が足りなければ持ち帰り可。

【授業後のフォロー】

保護者向けに「親子で決めるネットのおやくそくシート」の配布をおすすめします。

授業の1～2週間後に「おやくそく守れてる?」と軽く声かけすると定着率がUPします。

先生のための ネット用語解説集

授業中に児童から質問が出たときや、保護者対応の際にお役立てください。

インターネット

世界中のコンピューターをつないだ巨大なネットワーク。「ネット」と略されることが多い。

SNS

Social Networking Serviceの略。
LINE、Instagram、TikTok、X(旧Twi

Wi-Fi(ワイファイ)

無線でインターネットに接続する技術。家庭や学校、店舗などに設置されている。

アプリ

アプリケーションの略。スマホやタブレットにダウンロードして使うソフトウェア。

ダウンロード

インターネットから自分の端末にデータを取り込むこと。逆に送ることを「アップロード」という。

パスワード

アカウントにログインするための「合言葉」。他人に教えてはいけない。

アカウント

サービスを使うための会員登録のこと。IDとパスワードのセットで管理される。

個人情報

名前、住所、電話番号、メールアドレス、顔写真など、個人を特定できる情報。

フィルタリング

有害なサイトへのアクセスを制限する仕組み。子どものスマホには設定が推奨される。

ペアレンタルコントロール

保護者がお子さまの端末利用を管理する機能。利用時間やアプリの制限ができる。

デジタルタトゥー

ネットに投稿した情報が消えずに残り続けること。将来の就職などに影響することもある。

スクリーンショット

画面を画像として保存する機能。「スクショ」と略される。証拠保存に使える。

既読(きどく)

LINEなどで相手がメッセージを読んだことを示す機能。「既読スルー」が人間関係のトラブルになることも。

炎上(えんじょう)

SNSで不適切な投稿が拡散され、大勢から批判されること。

フェイクニュース

意図的に作られた虚偽のニュース。AIの発達で見分けが難しくなっている。

フィッシング詐欺

銀行やサービスを装った偽メール・サイトで個人情報をだまし取る手口。

課金(かきん)

アプリやゲーム内でお金を払うこと。「無料」アプリでも課金要素があることが多い。

ブロック

特定の相手からのメッセージやアクセスを拒否する機能。

通報(つうほう)

不適切な投稿やアカウントをサービス運営者に報告する機能。

生成AI(せいせいイーアイ)

文章や画像を自動で作るAI技術。ChatGPTなどが代表。偽画像の作成にも使われる。

ネットリテラシー ワークシート

～ インターネットを安全にたのしく使うために～

名前: _____ 年 組 番 _____ 日付: 月 日

Q1. インターネットの「べんり」なところと「こわい」ところを書こう

べんりなところ

こわいところ

Q2. 「個人情報」にあてはまるものに、まるを付けよう

名前

好きな食べ物

住所

血液型

電話番号

学校名

好きな色

顔写真

誕生日

Q3. メッセージを送る前に気をつけることは? 自分のことばで書こう

.....
.....

Q4. ネットでこまったとき、だれに相談する? 相談先を3つ書こう

1.
2.
3.

わたしのおやくそく

今日の授業で学んだことをもとに、自分だけのおやくそくを書こう:

.....